

平成23年9月8日

各 位

社団法人日本サッシ協会

平成23年度アルミ建材需要予測の見直し について

掲題の件、当協会は、毎年3月、次年度の予測を発表しております。  
発表いたしました予測値は、3月4日に取りまとめたもので、今次の東日本大震災にかかる需要の変化については、加味されておられません。  
震災後の、新設住宅着工戸数および建築物着工床面積 等の実績に鑑み当初のアルミ建材需要予測を見直した結果、下記のとおりと致しましたので、ご報告申し上げます。

記

平成23年3月発表の「アルミ建材需要予測」は、当初予測の とおりとする。

理由

4～7月間の住宅着工戸数 及び建物着工床面積の実績について、震災の影響が、東北において認められるものの、全国的には 建築需要は回復基調にある。

平成23年4～7月	新設住宅着工戸数	28.7万戸	前年比+ 8.6%
	建築物着工床面積	44.5百万㎡	前年比+10.2%
		出典：国土交通省 建築着工統計	

以上

## 平成23年度アルミ建材需要予測

(単位:千トン)

年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	118	-12.9%	127	8.1%	130	2.4%
ビル用 (2)	89	-14.3%	87	-2.7%	90	3.4%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	207	-13.6%	214	3.4%	220	2.8%
ドア (4)	25	-9.6%	26	3.9%	27	3.8%
エクステリア (5)	75	-9.4%	80	7.0%	82	2.5%
アルミ製室内建具 (6)	24	-10.9%	25	2.6%	26	4.0%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	331	-7.8%	345	4.2%	355	2.9%

## コメント

## 建築着工 平成22年実績および年度見込み

## 1. 木造住宅サッシ関係指標

## 1). 平成22年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で813千戸(前年比+3.1%)となりました。

新設住宅着工	戸数	813千戸	前年比	+3.1
新設住宅着工	床面積	72,911千㎡		+6.7
木造住宅	戸数	460千戸		+7.0
非木造住宅	〃	353千戸		▲1.5
木造住宅	床面積	47,277千㎡		+8.5
非木造住宅	〃	25,634千㎡		+3.6
持家	戸数	305千戸		+7.2
貸家	戸数	298千戸		▲7.3
分譲	戸数	202千戸		+19.6

## 2). 平成22年度の見込み(4月～3月)

年度予測で、新設住宅着工戸数は 825千戸(前年度比+6.4%)と見込みました。

## 2. ビル用サッシ関係指標

## 1). 平成22年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で121,455千㎡(前年比+5.2%)となりました。

全着工	床面積	121,455千㎡	前年比	+5.2
非木造	〃	69,200千㎡		+2.9
内非居住用	〃	41,048千㎡		+3.0

## 2). 平成22年度の見込み(4月～3月)

年度予測で、非木造用床面積は 70,600千㎡(前年度比+9.6%)と見込みました。

## アルミ建材需要 平成23年度予測

## 1. 木造住宅用サッシ

平成23年度新設住宅着工戸数については、「住宅エコポイント」の延長拡充や減税拡充などの支援策継続の下支えにより、雇用・所得環境は依然低迷するものの、若干の増加を見込みました。

前年度比+3.0%の850千戸(うち木造+2.9%の481千戸)と想定しました。

よって、木造住宅用サッシ需要は、木造住宅着工に連動して前年度比+2.4%の130千トンと予測しました。

## 2. ビル用サッシ

平成23年度非木造建築物着工床面積については、非居住分野では企業設備投資に若干の改善が見込まれること、及び居住分野(マンション)での若干の回復傾向が見られることより、前年度比+3.7%の73,000千㎡と想定しました。

よって、ビル用サッシ需要は、非木造床面積に連動して前年度比+3.4%の90千トンと予測しました。

以上のことから、アルミ建材需要全体では、前年度比+2.9%の355千トンと予測しました。